かちまいスポーツ
スポーツの日程・記録は▼FAX0155-25-2700
掲載写真の申し込みは▼TEL0120-25-9410

神谷 帯二3年 中学女子500 大会新 42秒82

スケート第1回バッジテスト

中学男子渡部（豊頃3年）一般男子長内（白樺高3年）ら2冠

スピードスケートの2006年度第1回バッジテスト会（帯広スケート連盟主催）が23日、帯広の森アイスアリーナで行われ、中学女子五百㍍は、強風の悪条件の中で力強い滑りを見せた神谷衣理那（帯二3年）が42秒82の大会新を樹立した。同男子の渡部知也（豊頃3年）は千㍍を1分22秒69、千五百㍍で2分12秒36と2種目でトップタイム。一般男子の長内慎太郎（白樺学園高3年）も五百㍍と千㍍で首位に立ち、同女子は國島美貴（帯南商高2年）が千五百㍍と三千㍍の2種目を制した。（宮木宗八）

【中学女子五百㍍】強風の中、最後まで低い姿勢を維持して大会新をマークした神谷衣理那（帯二）

神谷 強風でも好タイム

昨季の全国中学校短距離2冠の神谷衣理那（帯二3年）は、強風が吹きつける悪条件をものともしない滑りで、中学女子五百㍍の大会記録を0秒02短縮する42秒82の大会新をマーク。「この風の中、42秒台が出るとは思わなかった。今の自分の力は出せた」と笑顔を見せた。

力強いスタートダッシュでスピードに乗り、最後まで低い姿勢を維持したままフィニッシュラインを通過。好タイムにもつける悪条件をものともしない滑りで、中学女子五百㍍の大会記録を0秒02短縮する42秒82の大会新をマーク。「この風の中、42秒台が出るとは思わなかった。今の自分の力は出せた」と笑顔を見せた。

低い姿勢意識し手応え

昨シーズンは全道中学、全国中学ともに短距離2種目2冠を狙っていたが、全道では五百㍍2位、千㍍3位とあと一歩で逃したことから「中学最後の年なので絶対に優勝したい」と思いは強くなってきた」と大会記録更新につながった滑りに手応えを感じた様子。

今週末には真駒内選抜に出場する。「きょうは条件が悪かったので42秒台を切れなかったが、次は42秒を確実に切れる滑りをしたい」と誓っていた。

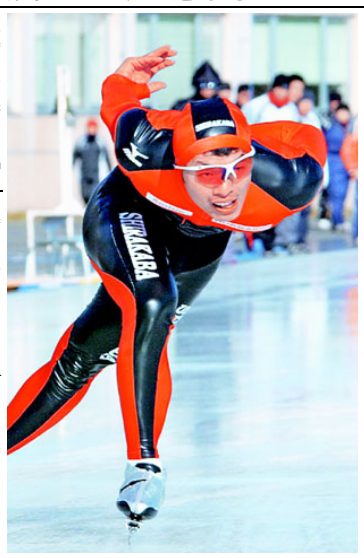
海外合宿で成長 乗り込み安定感

○…一般男子五百㍍を38秒86、千㍍を1分19秒16で制した長内慎太郎（白樺学園高3年）は「条件が悪くタイムは出なかったがシーズン序盤としては調子が良い」と満足げな表情だ。

夏場のカナダ・カルガリー合宿で各国のトップ選手の滑りを見て「体重や骨格で上回っていることはもちろん、何よりも日本人に比べてムラのない滑りをしていた」と違いを実感。

海外選手との違いを常に意識して、乗り込み重視の練習をしてきたことが「フォームの崩れが少なくなり安定した滑りができるようになってきた」と自身の成長につながってきた。

高校最後のシーズンでの順調な仕上がりに「さらに上を目指し、インターハイ入賞と世界ジュニアに出場して世界の選手に勝ちたい」とさらなるレベルアップを目指していく。



【一般男子五百㍍】力強いスケーティングで2種目を制した長内慎太郎（白樺学園高）

目標は全国2冠 まずは自己新を

○…今季の目標を全道中学、全国中学での2種目制覇と掲げる中学男子の渡部知也（豊頃3年）は、ともに自己ベストは出せなかったものの安定した力を発揮して千㍍と千五百㍍の2種目を制した。

「タイムは風が強いので厳しいと思っていたが、滑りではコーナーの出口の姿勢を低く保つことができた」と振り返る。

夏場は野球部でプレーしてきたが、秋には駅伝に取り組んできたことから「昨年よりも少しはスタミナがついてきた」と話す。

次戦は今週末の真駒内選抜と練習時間は取れないが、「仕上がりは昨年と同じくらい。条件さえ良ければ記録を出せる力はある」と千㍍1分20秒台、千五百㍍2分1秒台の自己ベスト更新を狙っていく。

【中学男子千七百㍍】千㍍でも首位と安定した力を発揮した渡部知也（豊頃）

國島美貴

「良い出来」笑顔 強風も出足好調

○…一般女子は安定したラップを刻み続けた國島美貴（帯南商高3年）が千五百㍍と三千㍍の2冠を達成した。

千五百㍍は2分25秒46、三千㍍は5分4秒06とともに自己ベストから大きく遅れ、強風の中でのレースだったことから「タイムには納得できないがラップの差は少なくシーズン初めにしては良い出来」と笑顔だ。

「まだ後半でラップがいきなり落ちたり、スケーティングが縦げりになる」など課題は多いが、今シーズンの好調なスタートを切った。「全道、全国で入賞し、国体選手に選ばれたい」と目標達成に向けて進む。

全国高校選抜アイスホッケー

清水 白樺下す

高橋2得点 十勝対決制し8強

【2回戦・清水―白樺学園】第2ピリオド1分すぎ、清水はパワープレーでDF高橋洋平（3年、中央）がミドルシュートを決め、2―1と逆転に成功。仲間から祝福を受ける

【苫小牧】アイスホッケーの第1回全国高校選抜大会（苫小牧市など主催）第2日は24日、苫小牧市内の3会場で2回戦の8試合を行った。ともに1回戦を快勝した白樺学園と清水は沼ノ端スケートセンターで〝十勝対決〟を行い、清水がDF高橋洋平（3年）の2ゴールなどで3―1と白樺学園を下して25日の準々決勝に進出した。大会は全国の27校が出場して23日に開幕、決勝は26日。（古川雄介、金野和彦）

◇2回戦

清水	1	1	0	2
白樺学園	0	0	1	1

▽得点者【清】①尾田―出田遼真（1P28秒）②尾田―山野下高橋（2P9分7秒）③木谷―出田遼真→高橋（2P12分55秒）【白】①章森―長岡（小原章2、田村、大崎、武井、長岡）

▽反則【清】11（西郷2、木谷、照井、齋藤、北村、大高、髙橋、平田、松田、田中遼真）【白】6

▽シュート数【清】25（13、7、5）【白】36（13、11、12）

清水は第1ピリオド開始28秒にFW田中遼真が45度の角度からシュートを決めて先制。同点とされて迎えた第2ピリオドは1分9秒に5対3のパワープレーから高橋のミドルシュートで勝ち越し。スピードに乗った速攻で主導権を握り、12分55秒にはパワープレーから再び高橋が決めて加点した。第3ピリオドはキルプレーを体を張って守り切った。

白樺学園は清水を上回るバックチェックで相手陣内に攻め込んだが、再三のパワープレーもゴール前で詰め切れずに好機を逃した。

狙い通りの得点 勝利貢献し笑顔

○…「パワープレーで起用してもらっていたので期待に応えたかった。狙い通りのシュートが決まった」。ライバルの白樺学園を相手に勝ち越し弾を含む2得点を挙げた清水のDF高橋洋平（3年）が、笑顔で自分のプレーを振り返った。

堅い守備からの速攻とパワープレーでのアウトサイドからの攻撃力が清水の武器。高橋仙人監督も「パックを持ったらゴールに吸い込まれる」と評する高橋のショットは、相手チームの警戒をものともせず、GKの肩口をすり抜けてゴールに突き刺さった。

早大の受験を26日に控えているため、今大会は25日の準々決勝までで離れる。「いる間に勝利に貢献したかった」とほっとした表情の高橋。「チームはまとまっているから、自分なしでも勝てるはず」と、第1回大会に清水の名を刻む願いを込めた。

再三の数的有利 堅守崩せず反省

○…「きれいな形でなくともゴール前にパックを集めなければ点は入らない。相手に理想的なゲームをされてしまった」。白樺学園は今月9日の全十勝高校選手権で完封勝ちした清水に完敗。湊谷匡晃監督も渋い表情を見せた。

パックキープでは完全に上回り、相手の反則から再三の数的有利をつくりながら清水の堅守を崩せなかった。長岡佑弥主将（3年）も「アタッキングゾーンに入っても回してばかりになった。シュート体勢までいけなかった」と反省した。

失った仲間のためにも「日本一」を目指したが、夢の実現の機会はインターハイに持ち越しとなった。湊谷監督は「気持ちの揺れはないといったらうそになるだろうが、勝負に同情はないし甘いものではない。一丸となって努力し続けるしかない」と選手たちの奮起に期待を込めた。

◇1回戦

北海	2	5	0	法政大一
苫小牧工	1	3	2	苫小牧南
軽井沢	4	1	0	八戸西
白樺学園	5	1	1	水戸短大付
清水	3	2	0	愛知

（23日）

武修館	5	1	1	北海道栄
早大鶴ケ丘	3	1	1	八戸商
武相	2	2	0	渋川工
埼玉栄	9	0	0	釧路江南
日光明峰	4	3	0	龍谷富山
東北	9	2	0	盛岡中央
早稲田実	7	1	1	長野工

2回戦で敗退し、悔しい表情で引き揚げる白樺学園の選手ら

開西などが2回戦進出

全道小学ホッケー帯広予選

アイスホッケーの第27回全道小学生競技会帯広地区予選会（帯広アイスホッケー連盟など主催）第1日は23日、帯広の森アイスアリーナで1戦3試合を行い、開西、音更、チャイルズが2回戦に駒を進めた。25、26日に2回戦を行う。

◇1回戦

開西 4 1 1 3（1―2 2―0）0 浦幌

▽得点者【開】佐藤2、早坂綾、石田

▽反則【開】2（石田、長原）【浦】2（浅川、泉）

▽シュート数【開】54（14、23、17）【浦】9（5、3、1）

音更 3 0 0 1（0―1 3―0）0 チェスコ

▽得点者【音】関和2、市川2、太田、原田

【予】四合

▽反則【音】0【予】0

▽シュート数【音】31（10、8、13）【予】23（6、11、6）

▽審判=広川、鎌田、佐藤俊、田守

チャイルズ 8（2―0 2―2 4―0）2 幕別

▽得点者【予】山口壮3、高橋2、渡邊、太田優、高砂

【幕】棚、江由

▽反則【予】1（山口壮）【幕】2（三田村大、江由）

▽シュート数【予】40（12、13、15）【幕】15（6、3、6）

▽審判=合真、鷹觜、佐藤洋

▽26日の予定 ▽25日=清水館影―緑丘（午後0時10分ごろ、開西―広陽稲田（午後1時40分ごろ）▽26日=啓西―音更（午後5時10分ごろ、チャイルズ―大空（午後6時40分ごろ）

スポーツの日程・記録は▼FAX0155-25-2700
掲載写真の申し込みは▼TEL0120-25-9410